

“Fishtech®”

ICTで進化する水産業



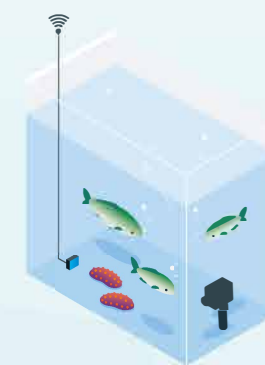
Fishtech® 養殖管理

安心・安全を支える、新しい養殖管理システム

Fishtech®養殖管理は、養殖の高度化を支える生産者向けシステムです。こだわりのデザインによって、業務管理の役割を超えた新しい価値を提供します。



- センサー・カメラとIoT連携
- マルチデバイス対応
- 作業票を用いた業務管理
- トレーサビリティ管理
- スマート分析
- AI機械学習の拡張機能



生け簀をまるごと把握する

センサーとカメラをIoT化することにより、遠隔からの状態把握が可能です。生き物ごとに適した水質管理ができるため、複数種を同じ水槽で管理※することもできます。

※複合養殖に対応します。特許出願中。



安心・安全のための生産管理

すべての作業実績・測定記録はクラウド上に保存され、養殖魚の生育履歴をトレースすることができます。作業実績を見る化することにより、担当間での作業分担も容易になります。



どこにいても、だれにでも使える

PCからスマートフォンまで、どんなデバイスでも操作感が変わりません。文字の読みやすさ、表示の分かりやすさに配慮し、老若男女だれでも養殖に従事することが出来ます。

テクノロジーが導く、地球に、人にやさしい水産業

ここ40年で世界の水産資源の約半分が乱獲や環境破壊によって失われたと言われ、今、世界的に水産業の在り方が見直されています。水産業のサプライチェーンは、養殖・漁業、加工・流通、小売・外食という流れで出来ており、環境にやさしい水産業であることを証明する国際認証・トレーサビリティも重要視されています。富士通は、これら全体をICTのテクノロジーでサポートしていきます。

ウニ・ナマコ陸上養殖を支援

北海道神恵内村

神恵内村は、積丹半島の西側に位置する北海道で2番目に人口が少ない村です(2019年1月時点)。江戸時代から栄えた漁業も、漁獲量の低下や跡継ぎ不足により衰退を余儀なくされています。自治体、地場企業、富士通が協業し、Fishtech® 養殖管理を導入。特産物であるウニ・ナマコ陸上養殖の実証実験が、2019年春から本格的に開始されました。



地域の特産物を守る

天然資源の漁獲のみであったウニ・ナマコに養殖という選択肢を加えることで、通年出荷を可能にし、原料の安定供給をはかります。ひとつの水槽内でウニ・ナマコを同時飼育する複合養殖にトライしています。



働き方改革をサポート

村の持つ育成技術やノウハウをメニュー化し、最少手番で作業を記録できるようになりました。作業実績をシェアすることにより、属人化を避け作業分担を可能にしています。村の雇用拡大にも貢献します。



ブランド価値向上に活躍

管理業務を超えて、広報ツールとしての役割も果たします。水産物のライブ映像や、在庫、水質状態、日々の作業内容を、地域の生産者自身の手で、魅力的に伝えることができます。

ICTによる先進養殖と伝統的な漁業が共存する、新たな神恵内村へ
Fishtech® 養殖管理は地域振興の核となり、豊かな未来を創っていきます。

お問合せ先
富士通株式会社
FUJITSU Fishtech プロジェクトチーム
Mail: fj-fishtech@dl.jp.fujitsu.com

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



shaping tomorrow with you

FUJITSU

FUJITSU Fishtech®

